



樹脂・ゴム製部品の粘弾性評価

専用装置では測定が難しい、部品形状の粘弾性特性を評価いたします。

樹脂・ゴム製部品の粘弾性特性

樹脂・ゴムなどの高分子材料は、粘弾性特性を活用した制振、緩衝、防音などの様々な用途への採用が進んでいます。

複数素材を一体化した部品や特殊な形状により機能を発現する部品は、試験力、槽内寸法の制約から、従来の粘弾性装置を用いた測定に対応できない場合があります。

当社では樹脂・ゴム製部品の疲労試験を実施するとともに、部品から採取した材料の粘弾性特性を評価いたします。

装置仕様

試験機の仕様

試験力	(N)	3,000
ストローク	(mm)	±30
槽内寸法	(mm)	250×250×400
温度	(°C)	−40~250
湿度	(%)	~95%
評価項目	(-)	貯蔵弾性率(E') 損失弾性率(E'') $\tan \Delta$ 、損失係数等



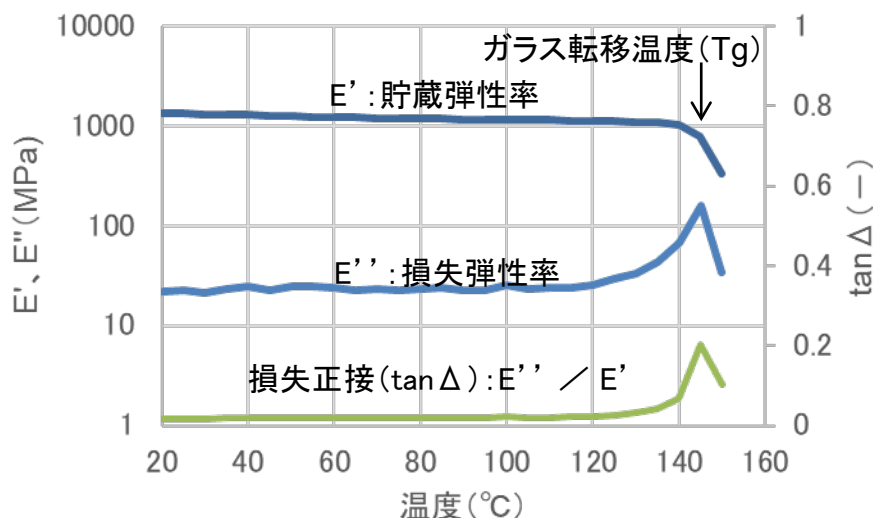
試験機の外観

樹脂部品の粘弾性評価(温度分散評価)

部品から採取したポリカーボネートの温度分散測定を実施し、貯蔵弾性率、損失弾性率、損失正接($\tan \Delta$)の温度依存性およびガラス転移温度(T_g)を評価しました。

測定仕様

供試体	—	ポリカーボネート
制御	—	変位
槽内寸法	(mm)	250×250×400
周波数	(Hz)	0.1



ポリカーボネート樹脂の温度分散曲線



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2022 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。